

京都大学教育研究振興財団助成事業 成 果 報 告 書

2020 年 3 月 10日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 京都大学大学院経営管理研究部

職 名 准教授

氏 名 山内 裕

助 成 の 種 類	2019 年 度 ・ 国際会議開催助成		
国 際 会 議 名	EGOS and Organization Studies Kyoto Workshop 2019		
開 催 期 間	2019 年 12 月 13 日 ～ 2019 年 12 月 15 日		
開 催 場 所	京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール及び会議室		
参 加 者	総 数 176 名	内 訳 学内関係者 30名 学外者 146名(国内 56名 海外 90名)	
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 ☒ 無 ☐ 有()		
会 計 報 告	事業に要した経費総額	7,116,924 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	京都大学経済学研究科・European Group for Organization Studies・The University of British Columbia	
	経 費 の 内 訳 と 助 成 金 の 使 途 に つ い て		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	会場費	503,800	
	バンケット・ランチ・コーヒー等	2,484,945	
	事務局業務	1,318,672	469,850
	旅費・謝金等	2,136,371	
	クレジットカード会社手数料	169,440	
当財団の助成について	会場スタッフ謝金	344,300	520,551
	その他	159,396	9,599
	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。)		

EGOS and Organization Studies Kyoto Workshop 報告書 (山内 裕)

本ワークショップは、EGOS (European Group for Organization Studies)とそのジャーナルである Organization Studies が初めて日本で主催し、また本学経済学部創立100周年記念行事として開催したものである。

EGOS は組織研究の中心的な学会組織であり、毎年8月に開催される年次大会には各国から多くの研究者が参加する。Organization Studies は組織研究、特に文化的な視座や理論を重視する研究においてはトップレベルのジャーナルである。本ワークショップを京都で実施できたことは、京都大学および経済学部の存在感を高める重要な機会となった。

組織研究と論文発表を中心に、EGOS と東アジア地域の研究コミュニティを繋ぐことを目的として開催したが、当初の予想を大きく上回る数の投稿を集め、国内外の関心の高さを伺わせた。双方からの意欲的な参加と、期間を通しての充溢した議論の集積で、この目的は達成したと言える。



初日は Daniel Hjorth・Trish Reay・Asli Colpan を co-chair として Paper development workshop(PDW)を、また Innan Sasaki・遠藤貴宏(敬称略)を co-chair として doctoral consortium(DC)を行った。メンターは Organization Studies のシニアエディター及び経験豊富なレビュワー、EGOS 及び日本の研究者で構成し、若手研究者が論文を執筆するにあたって貴重な支援の機会となった。

2日目と3日目には発表の場を設けてセッションを行った。発表者を最大限サポートするという目的に則して、各発表に30分の時間を設けることができた。特に、ヒューマニティや哲学などの領域に節合した、欧州に特徴的な組織研究のテーマが多々あり、アジアの研究者にとっては刺激的な出会いとなったと考えられる。テーマ毎にセッションをまとめつつ、アジアの研究者と欧米の研究者を組み合わせる工夫をしたことで、交流を促すことができた。

3名のスピーカーを招き基調講演を行った。初日には、ジャーナル論文の執筆を念頭に、Carl Rhodes 氏から講演があった。2日目には、プロセス理論にもとづく組織論をリードしてきた Robert Chia 氏が、アジアとヨーロッパという二つの文化の橋渡しについて講演した。3日目には、ビジネス倫理の研究をリードしている Mollie Painter 氏から、ヨーロッパの組織研究の特徴であるヒューマニティの視座についての講演がなされた。東アジアとヨーロッパのコミュニティの交流を目的とする本ワークショップにとって、ふさわしいテーマのキーノートであった。



The Poetics of Organization Studies by Prof Carl Rhodes



'East' - 'West' Metaphysical Differences: Implications for Strategy and Organizational Theorizing by Prof Robert Chia



Incalculably human ... why research in organization studies needs the humanities by Prof Mollie Painter

投稿数：269

91 papers presented

15 in doctoral consortium

17 in paper development workshop

59 in regular paper sessions

参加者：171

Country	Number of participants
オーストラリア	11
カナダ	8
中国	7
デンマーク	5
フィンランド	5
フランス	6
ハンガリー	1
インド	1
インドネシア	1
日本	91
フィリピン	1
韓国	1
シンガポール	1
スウェーデン	4
スイス	1
台湾	1
イギリス	22
アメリカ	4

(国名は参加者の国籍ではなく居住地を示す)



協賛:

European Group for Organizational Studies

京都大学経済学部

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

W. Maurice Young Centre for Entrepreneurship and Venture Capital Research, UBC Sauder
School of Business

Entrepreneurship Platform, Copenhagen Business School

協力:

Academic Association for Organizational Science

Organization and Management Theory Division, Academy of Management

京都大学経営管理大学院

京都大学デザインスクール



Organizing committee:

久野 愛, 京都大学

武石 彰, 京都大学

Asli Colpan, 京都大学

森田 篤郎, 大阪大学

Balazs Fazekas, 京都橘大学

伊藤 智明, 京都大学

Innan Sasaki, Warwick Business School

北川 亘太, 関西大学

稲垣 京輔, 法政大学

軽部 大, 一橋大学

佐藤 那央, 北陸先端科学技術大学院大学

若林 直樹, 京都大学

澤邊 紀生, 京都大学

山尾 佐智子, 慶應義塾大学

船津 昌平, 京都大学

Tao Wang, Grenoble EM

遠藤 貴宏, 一橋大学

平本 毅, 京都府立大学

関口 倫紀, 京都大学

中野 勉, 青山学院大学

梶山 泰生, 京都大学

Scientific committee:

Bernard Forgues, EM Lyon

Daniel Hjorth, Copenhagen Business School & Nottingham Business School

Robin Holt, Copenhagen Business School

Markus Höllerer, UNSW Sydney & WU Vienna University of Economics and Business

Renate E. Meyer, WU Vienna

Mollie Painter, Nottingham Business School

Davide Ravasi, University College London

Trish Reay, University of Alberta

Innan Sasaki, Warwick Business School

Marc-David Seidel, University of British Columbia

Tao Wang, Grenoble EM

山内 裕, Kyoto University